

競技注意事項

1. 本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項、監督会申し合わせ事項により実施する。

2. 招集について（招集所は競技場スタンド下倉庫～100m スタート地点側に設置する。）

(1) 招集時刻は、次の招集時刻一覧表のとおりとする。

競技種目	招集開始時刻（点呼開始時刻）	招集完了時刻（移動開始時刻）
トラック競技	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド競技	競技開始50分前	競技開始40分前

※競技者は、競技順序記載の該当する組の競技時刻に合わせて、招集を受けること。

(2) 選手は、招集完了時刻5分前までには選手招集所付近で待機し、競技役員の点呼を受ける。

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなして出場を認めない。但し、他競技種目に出場中の競技者は、点呼を代理人が申し出ること。

(4) 四種競技の招集は、第1日目および第2日目の最初の種目については、招集時刻一覧表のとおり招集所で行う。第2種目は、トラック競技は競技開始20分前、フィールド競技は競技開始40分前までにそれぞれの競技場所に集合する。

(5) 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、その旨を本人または代理人が招集時に競技者係に申し出ること。

(6) リレーに出場するチームは、オーダー用紙を招集完了時刻の60分前までに競技者係（招集所）に提出すること。なお、オーダー用紙は招集場所で係が配布する。

3. ナンバーカードは、宮崎陸上競技協会登録番号とし、胸背部に確実につける。ただし、跳躍競技の出場者は胸背部いずれか一方でもよい。尚、トラック競技に出場する競技者は、写真判定用腰ナンバーカードを招集時に受け取り、右腰につける。競技終了後、フィニッシュ地点で返却する。

4. 競技のレーン順及び試技順について

(1) レーン順・試技順は、主催者が決定しプログラムに記載する。

(2) トラック競技の決勝は、本大会本部の抽選により決定する。

(3) トラック競技におけるタイムレースの結果、上位8名を決勝進出者とする。ただし1000分の1秒まで計測し、同タイムの場合は抽選により決定する。

(4) 800mの決勝は、第2コーナーまでセパレートレーンで行う。ただし、予選と1年女子タイムレース決勝はオープンレーンで行う。

5. スタートのコールは英語とし、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格させられる。ただし、混成競技においては、2回目に不正スタートした競技者が失格させられる。また、スタートの「セット」の合図の後、一度静止はしたが、スターティング・ブロックから足が離れようとしていない、あるいは手が離れようとしていない動作（ピク付き）があった場合は、警告とせず、注意とする。

6. 4×100mRのテイクオーバーゾーンの距離は30mである。

7. 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下表のとおりにする。ただし、気象条件等により変更する場合もある。

種目・区分		種別	練習	試技						
走高跳	男子	共通	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	以降3cmずつ	
		四種競技	1m30	1m33	1m36	1m39	1m42	1m45	1m48	以降3cmずつ
	女子	共通	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	以降3cmずつ	
		四種競技	1m10	1m13	1m16	1m19	1m22	1m25	1m28	以降3cmずつ
棒高跳	男子	共通	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	2m50	2m60	以降10cmずつ
	女子	共通	1m60	1m80	1m90	2m00	2m10	2m20	2m30	以降10cmずつ

8. 競技場は、全天候競技場である。スパイクの数は11本以内で、長さは走高跳およびジャベリックスローは、12mm以下のものを、その他の種目は9mm以下を使用すること。

9. 競技運営上下記の種目は、計測記録を設ける。

走幅跳	男子	4m50	砲丸投	男子	4m00	ジャベリック	男子	25m00
	女子	3m50		女子	4m00		女子	20m00
上記の計測記録に満たない場合は計測しない。ただし、必ず1回目の有効試技は計測を行う。								

10. フィールド競技は招集完了後、競技場内で練習する時間を設ける。
なお、男女走幅跳、男女砲丸投は、1日目に予選、2日目に決勝を行い、予選通過標準記録は、全日本中学校陸上競技選手権大会の参加標準記録とする。
男子走幅跳：6 m 5 5 女子走幅跳：5 m 4 5 男子砲丸投：1 3 m 0 0 女子砲丸投：1 2 m 5 0
また、予選通過標準記録を超えた選手が12名に満たなかった場合は、上位12名まで決勝に進出させる。なお、12番目に同じ記録の競技者がいた場合は、2番目の記録で順位をつける。決められない場合は3番目の記録で決める。それでも決められない場合は、複数名決勝に進出できる。
11. 練習は、指定された場所を使用して行なう。
12. 使用器具は、競技場備え付けのものを使用すること。
13. 投てき種目の用具の重量は、男子の砲丸投は5 k gとするが、四種競技の場合は4 k gとする。女子の砲丸投は2. 7 2 k g、男子の円盤投は1. 5 k g、女子の円盤投は1 k gとする。
14. 棒高跳を除くフィールド競技において（走高跳においては4人以上が残っている場合）、競技時間は60秒である。
15. 選手の変更は認めない。
16. 表彰は、各種目の優勝者に賞状とバッジを、8位までに賞状を授与する。ただし、共通リレーと奨励種目は3位までとする。奨励種目とは次の通りである。
男子 三段跳、円盤投、ジャベリックスロー、低学年リレー
女子 1年800m、棒高跳、円盤投、ジャベリックスロー、低学年リレー
17. 本大会で標準記録に到達した者は、全日本中学校陸上競技選手権大会（大阪）に出場できる。